

2026 年度名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程

総合保健学専攻

[一般選抜・社会人特別選抜]

専門科目 出題の意図

保健学領域における専門的な学力を問う。

英 語 出題の意図

科学英語の基礎的読解力および保健学領域における専門的な学力を問う。

面 接 質問内容例

進学の実動、希望する研究内容、それに関する知識と理解度、国際性が求められる研究
大学大学院生として入学後に取組むべきこと、将来への展望（思い描くキャリアパス、博
士後期課程への進学希望）など

受験番号 Examinee Number	
-------------------------	--

2026年度 名古屋大学大学院医学系研究科

Nagoya University Graduate School of Medicine

博士前期課程入学試験

Entrance Examination for the Master's Program

専門科目

Specialized Subject

総合保健学専攻 看護学コース 助産学分野

Department of Integrated Health Sciences

Course in Nursing

Field of Midwifery

8月27日(水) 9:30~10:30

August 27(Wed)

注意事項

Important Points

- 試験開始の合図まで、この冊子を開いてはいけません。
Do not open the examination booklet until directed to do so.
- この冊子のページ数は、表紙を含めて 7 ページあります。
This booklet has 7 pages, including the cover page.
- 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があったら、直ちに申し出てください。
If you find a problem in the booklet, such as omission of page or unclear print, please raise your hand and wait for a director.
- 解答にかかる前に、すべてのページ右上の所定の箇所に受験番号を記入してください。
First write your examinee number clearly in the space right above on each answer sheet.
- 解答は、問題の指示に従って所定の欄に記入してください。所定の欄以外に記入した解答は無効です。
Your answer must be written in the space indicated on each answer sheet. Answers written outside the designated space will not be considered as valid answers.
- 試験終了時刻まで退出してはいけません。
You must stay at the examination venue until the time allotted for the examination expires.
- この冊子は持ち帰ってはいけません。
Do not take this booklet out with you when you leave the examination venue.

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number	
-----------------	--

受験番号

○

○

【問題 1】以下の括弧 ①～⑮ に当てはまる適切な語句や数字を解答欄に記載しなさい。

- 1) ウェルネスとは、より高いレベルの (①) 機能に向けた絶え間のない変革のプロセスであり、ウェルネス型診断は、より高い準備状態にある個人・家族・地域社会のウェルネスレベルに対する (②) の反応を記述するものである。
- 2) 法律で明確に定められている乳幼児健康診査の実施時期は、(③) 児健康診査と (④) 児健康診査である。
- 3) 妊婦健康診査では、(⑤)、視診、(⑥)、聴診、計測診、臨床検査、必要時に内診を行い、総合的に母児の健康状態を評価する。
- 4) 経膈分娩をした初産婦の分娩直後の子宮は、臍下 (⑦) 横指程度まで低下する。
- 5) 後陣痛は、(⑧) に伴う痛みで、初産婦に比べ経産婦に強く起こり、(⑨) 時には増強する。
- 6) 褐色悪露は、血液成分が減少し、(⑩) が褐色に変色したものである。
- 7) (⑪) スコアは、出生直後の児の健康状態を評価するスコアで、出生後 (⑫) 値と (⑬) 値のスコアを評価する。早期母子接触を行う基準として、新生児が胎外生活に適応していることを示すスコア値が (⑭) 点以上ないと実施できない。
- 8) 新生児は長時間低体温状態にあると、代謝性 (⑮) を起こし、生命の危険があるため、体温保持のためのケアが必要である。

【問題 2】出生前診断の目的について述べなさい。

【問題 3】妊娠中の保健指導の目的について述べなさい。

【問題 4】初産婦が経膈分娩で出産した直後に、弛緩出血を起こさないためのケアについて述べなさい。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number	
-----------------	--

受験番号

○

○

【問題 5】以下の 1) から 8) の事項が規定されている法律名を解答欄に記入しなさい。

- 1) 産前産後の休業
- 2) 妊婦健康診査の受診時間の確保
- 3) 生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置
- 4) 小学校 3 年生修了までの子の看護等休暇
- 5) 人工妊娠中絶
- 6) 児童相談所の設置
- 7) 養育医療
- 8) 受胎調節の実地指導

【問題 6】以下の①から④に当てはまる数字を解答欄に記入しなさい。

- 1) 死産とは、妊娠満 (①) 週以後の死児の出産をいう。
- 2) 乳児死亡とは、生後 (②) 年未満の死亡をいう。
- 3) 新生児死亡とは、生後 (③) 週未満の死亡をいう。
- 4) 早期新生児死亡とは、生後 (④) 週未満の死亡をいう。

【問題 7】以下の括弧①から⑬までに当てはまる語句・数字を解答欄に記入あるいは選択しなさい。
選択の場合は、該当する解答欄にある語句のうち正しいものを丸で囲みなさい。

母体内の胎児は胎盤でガス交換を行うので、成人とは異なる循環をしている。胎盤に血液を送る (①: 数字) 本の (②) は、骨盤内の (③) の枝で、膀胱の上面から腹壁の内面を膈に向かう。胎盤から臍帯を通過して戻ってきた (④: 数字) 本の (⑤) は肝臓の下面に達し、そこで酸素に富む血液の、一部は肝臓を通り、一部は (⑥) という連絡路から直接に、(⑦) に流れ込む。(⑦) から (⑧) に戻ってきた酸素に富む血液の大部分は、左右の心房の間の壁に開いた (⑨) を通って左心房に流入し、体循環に入る。上半身の酸素に乏しい血液を集める (⑩) の血液は、主に (⑧) から右心室に入り、(⑪) に向かって拍出される。そして左右の (⑪) への分岐部と大動脈の間の (⑫) を通って、体循環に流入する。この (⑫) と大動脈との合流部は大動脈から頭部と上肢への分枝よりも (⑬: 上流・下流) にあるため、上半身には下半身よりも酸素に富む血液が送られ、発育を促進する。

【問題 8】子宮と腔にある感染防御機構について説明しなさい。

【問題 9】羊水の働きについて説明しなさい。

解答例

【問題 1】括弧 ①～⑮ に当てはまる適切な語句や数字を解答欄に記載しなさい。

①	②	③	④
生活	人間	1 歳 6 か月	3 歳
⑤	⑥	⑦	⑧
問診	触診	2 または 3	子宮収縮
⑨	⑩	⑪	⑫
授乳	ヘモグロビン	アップガー	1 分
⑬	⑭	⑮	
5 分	8	アシドーシス	

【問題 2】出生前診断の目的について述べなさい。

目的は、妊娠中に胎児が何らかの疾患に罹患していると思われる場合に、①胎児期に治療可能な疾患に対する治療をすること、②分娩方法を決めたり出生後のケアの準備を行うこと、③胎児の健康状態を確認し、妊娠を継続するか否かに関する情報を提供すること、である。

【問題 3】妊娠中の保健指導の目的について述べなさい。

妊娠中の保健指導の目的は、妊婦自身が心身ともに健康を維持しながら、快適な生活を送り、不安を最小限にとどめて出産や育児に臨むための準備を整えられるように支援することである。

【問題 4】初産婦が経膈分娩で出産した直後に、弛緩出血を起こさないためのケアについて述べなさい。

- ①出産前に膀胱・直腸内の充満を取り除く。
- ②分娩期にできるだけ疲労させないで出産できるようにケアする。
- ③胎盤娩出後、子宮腔内の残存物を確認し、あれば除去をする。
- ④子宮収縮を確認し、子宮底輪状マッサージを行う。
- ⑤子宮収縮が悪ければ、医師に報告し、子宮収縮剤を投与する。

【問題 5】以下の 1) から 8) の事項が規定されている法律名を解答欄に記入しなさい。

1)	2)	3)	4)
労働基準法	男女雇用機会均等法	労働基準法	育児・介護休業法
5)	6)	7)	8)
母体保護法	児童福祉法	母子保健法	母体保護法

育児・介護休業法：育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

【問題6】以下の①から④に当てはまる数字を解答欄に記入しなさい。

①	②	③	④
12	1	4	1

【問題7】以下の括弧①から⑬までに当てはまる語句・数字を解答欄に記入あるいは選択しなさい。選択の場合は、該当する解答欄にある語句のうち正しいものを丸で囲みなさい。

①	②	③	④
2	臍動脈	内腸骨動脈	1
⑤	⑥	⑦	⑧
臍静脈	静脈管 (アランティウス管)	下大静脈	右心房
⑨	⑩	⑪	⑫
卵円孔	上大静脈	肺動脈	動脈管 (ボタロー管)
⑬			
上流・ <u>下流</u>			

【問題8】子宮と膣にある感染防御機構について説明しなさい。

「膣内が酸性に保たれていること」、「子宮頸管粘液にIgAが含まれていること」、「月経により子宮内膜が周期的に再生と剥離を繰り返すこと」、各々2点とする。他の解答に対しては適宜判断する。

【問題9】羊水の働きについて説明しなさい。

「肺の成熟」2点、「衝撃の緩衝作用」2点、「運動空間の確保」2点、「分娩時の子宮口の開大」2点
最大6点満点とする。他の解答に対しては適宜判断する。

2025 年度名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程

総合保健学専攻

[一般選抜・社会人特別選抜]

専門科目 出題の意図

保健学領域における専門的な学力を問う。

英 語 出題の意図

科学英語の基礎的読解力および保健学領域における専門的な学力を問う。

面 接 質問内容例

進学の実動機、希望する研究内容、それに関する知識と理解度、国際性が求められる研究
大学大学院生として入学後に取組むべきこと、将来への展望（思い描くキャリアパス、博
士後期課程への進学希望）など

2025 年度名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程

総合保健学専攻

[一般選抜・社会人特別選抜]

英 語 出題の意図

科学英語の基礎的読解力および保健学領域における専門的な学力を問う。

受験番号 Examinee Number	
-------------------------	--

2025年度 名古屋大学大学院医学系研究科

Nagoya University Graduate School of Medicine

博士前期課程入学試験

Entrance Examination for the Master's Program

専門科目

Specialized Subject

総合保健学専攻 看護学コース 助産学分野

Department of Integrated Health Sciences

Course in Nursing

Field of Midwifery

8月28日(水) 9:30~10:30

August 28(Wed)

注意事項

Important Points

- 試験開始の合図まで、この冊子を開いてはいけません。
Do not open the examination booklet until directed to do so.
- この冊子のページ数は、表紙を含めて 7 ページあります。
This booklet has 7 pages, including the cover page.
- 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があったら、直ちに申し出てください。
If you find a problem in the booklet, such as omission of page or unclear print, please raise your hand and wait for a director.
- 解答にかかる前に、すべてのページ右上の所定の箇所に受験番号を記入してください。
First write your examinee number clearly in the space right above on each answer sheet.
- 解答は、問題の指示に従って所定の欄に記入してください。所定の欄以外に記入した解答は無効です。
Your answer must be written in the space indicated on each answer sheet. Answers written outside the designated space will not be considered as valid answers.
- 試験終了時刻まで退出してはいけません。
You must stay at the examination venue until the time allotted for the examination expires.
- この冊子は持ち帰ってはいけません。
Do not take this booklet out with you when you leave the examination venue.

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題1】以下の括弧 ①～⑩ に当てはまる適切な語句や数字を解答欄に記載しなさい。

- 1) 周産期死亡とは、妊娠満 (①) 週以後の (②) と (③) を加えたものである。
- 2) 「女性には母性本能があり、出産育児を喜ぶはず」、「育児は生母がもっとも適している」といった信念を (④) という。
- 3) (⑤) とは、自分が女性、男性あるいはその中間のいずれと考えることであり、自分の性に関する認識である。
- 4) (⑥) は、配偶者や恋人、パートナーなどの親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力という意味で使用され、心理学者のウォーカーは、(⑦) 期、(⑧) 期、(⑨) 期という3つのステージからなるサイクルがあることを発見した。
- 5) 配偶子(精子、卵子)あるいは受精卵(胚)を体外に取り出し、人為的な処理・操作を加えることにより、妊娠の成立を目的とした医療を (⑩) 医療という。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題2】以下の括弧 ①～⑩に当てはまる適切な語句や記号、数字を解答欄に記載しなさい。

- 1) 妊娠が成立すると、妊娠黄体から (①) ホルモンが産生され、女性の基礎体温では (②) が2週間以上持続する。
- 2) 妊娠中の子宮筋細胞の増大・肥大は、(③) の作用によって生じる。
- 3) 妊娠6か月の子宮底長について、以下のa) からd)のうち適切なものは (④) である。
 - a) 剣状突起から2横指下
 - b) 恥骨結合上3横指
 - c) 剣状突起と臍の中央
 - d) 臍高から臍上1横指
- 4) 妊婦の腰痛は、子宮増大に伴う頸椎の直立、胸椎の後弯、(⑤) が増強することが原因である。
- 5) ヒト胎盤性ラクトゲンの作用によって母体の (⑥) 抵抗性が増大し、食後に増加したブドウ糖が利用されにくくなる。
- 6) 分娩開始の基準について、以下のa)からd)のうち適切なものを全て (⑦) へ記載しなさい。
 - a) 陣痛周期が15分以内となった時点
 - b) 陣痛周期が10分以内となった時点
 - c) 陣痛の頻度が1時間に10回以上となった時点
 - d) 陣痛の頻度が1時間に6回以上となった時点
- 7) 子宮口開大に伴い、内子宮口付近の卵膜が脱落膜から剥離し、少量の出血および血性分泌物が排出される。これを (⑧) という。
- 8) 胎児娩出後、子宮筋の (⑨) により生物学的血管結紮が障害されて機能せず、大出血をきたしたものを (⑩) という。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University
Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題3】以下の括弧①～⑤に当てはまる適切な語句や記号、数字を解答欄に記載しなさい。

A氏は年齢30歳、初妊婦である。本日、妊娠週数38週0日で、妊婦健康診査の結果は以下だった。
体重63.0kg、尿糖(-)、尿蛋白(-)、血圧122/72mmHg、胎児の推定体重は2,890gであった。

「時々、お腹が張る」と訴えがある。夫は分娩に立ち会うことを希望している。

妊娠週数34週1日時点の結果は、体重61.5kg、尿糖(-)、尿蛋白(-)、血圧114/68mmHgであった。
非妊娠時は、身長158cm、体重52.0kgだった。

- 1) A氏の非妊娠時のBMIは(①)である。小数点第一位まで記載しなさい。
- 2) 2021年に日本産科婦人科学会が推奨した妊娠中の体重増加の目安に基づくと、A氏の体重増加量の目安は、(②)kg～(③)kgである。
- 3) 妊婦健康診査後の保健指導について、a)からd)のうち適切なものを(④)へ記載しなさい。
 - a) 音や光を避けた静かな環境で過ごすよう説明した。
 - b) 次回受診まで安静にするように説明した。
 - c) 乳頭マッサージを控えるように説明した。
 - d) 破水感があつた時には、直ちに受診することを説明した。
- 4) (⑤)とは、出産前にA氏と夫の出産と育児に対する要望を盛り込んだ計画書をいう。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University
Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題4】以下の括弧①～⑤に当てはまる適切な語句や記号を解答欄に記載しなさい。

- 1) 性分化の過程について胎生 6 週頃から、男性の内性器に分化する (①) 管と、女性の内性器に分化する (②) 管がある。
- 2) 排卵は、(③) サージの開始から 10～12 時間後に生じる。
- 3) 月経前症候群について、a) から d) のうち適切なものを全て (④) に記載しなさい。
 - a) 月経 1 週間前から月経後 2 週間頃まで症状が持続する。
 - b) 抑うつや不安などの精神心理症状を含む。
 - c) 基礎体温や症状の経過記録から発症のパターンや生活との関連を把握し、セルフケアを検討する。
 - d) 治療薬には SSRI (選択的セロトニン再取り込み阻害薬) が用いられることがある。
- 4) 子宮頸がんの早期発見のために、国内では検診時に行われる検査法として (⑤) が推奨されている。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題 5】日本における人口動態統計について、以下の解答欄①～⑩に当てはまる語句や記号、数字を記入あるいは選択しなさい。選択の場合は、該当する解答番号欄にある語句のうち正しいものを丸で囲みなさい。

- 1) 1975年（昭和50年）から2019年（令和元年）における出生時体重の推移の特徴として、平均出生時体重は、（① 増加・減少）傾向にある。
- 2) 出生時体重が（②）g未満の新生児を極低出生体重児と定義し、出生時体重が（③）g未満の新生児を超低出生体重児と定義している。
- 3) 早期産児とは、在胎週数が（④）週未満で出生する新生児を示し、低出生体重児となる原因の一つである。
- 4) 母子保健法により届出が義務付けられている低体重児出生届は、出生時体重が（⑤）g未満の乳児が対象となる。この低体重児出生届を提出する場合、出生届の提出は（⑥ 必要・不要）である。
- 5) 出生時の体型の経時的変化には、日本における母体の妊娠中の体重増加（⑦ 抑制・促進）指導が関係していることが報告されている。
- 6) 低出生体重児は、成人期に糖尿病や高血圧、高脂血症など、いわゆるメタボリックシンドロームを発症するリスクが（⑧ 上昇・低下）するという疫学調査の結果が報告されている。
- 7) 胎児の神経管閉鎖障害のリスクを軽減するために、妊娠前から妊娠初期にかけて積極的に摂ることが勧められている栄養素は（⑨）である。
- 8) 妊娠初期・中期の過剰摂取により、胎児の神経管奇形を含む各種奇形を増加させる可能性が報告されている栄養素は（⑩ ビタミンA・ビタミンB）である。

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University
Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

【問題 6】以下の設問について、解答欄に当てはまる記号を記入しなさい。

1) 成乳と比較すると、初乳の特徴で正しいものすべてを記入しなさい。

- a) ラクトアルブミンが少ない。
- b) IgA の含有量が多い。
- c) 粘稠度が低い。
- d) 乳糖が多い。

2) 初乳と比較すると、成乳の特徴で正しいものすべてを記入しなさい。

- a) 塩類を多く含む。
- b) 蛋白質を多く含む。
- c) 免疫物質を多く含む。
- d) 100mL あたりのエネルギー量が高い。

3) B さん (36 歳、2 回経産婦) は、正常な妊娠経過で、妊娠 37 週 2 日に 2600g の女児を正常分娩した。分娩の所要時間は 4 時間 40 分、出血量は 250 グラム、会陰裂傷はない。女児の 1 分後、5 分後のアプガールスコアはいずれも 9 点であった。B さんは、退院日である産褥 5 日目の朝、「この子は上の子たちに比べて小さく、母乳を吸う力も弱い感じがします。授乳回数は 1 日 10 回ぐらいで、夜中は 2 回ぐらい授乳しています。搾乳はしていません。ミルクも使っていません。今後どうしたらよいでしょう」と話す。

女児の生後の経過は、生後 3 日目の体重は 2430g で最低体重であった。生後 4 日目の体重は 2460g、本日の体重は 2510g である。B さんへの対応で適切だと思う解答を選択し、解答欄に当てはまる数字を記入しなさい。

- a) 「授乳を 3 時間ごとにしましょう」
- b) 「このままの授乳で様子を見ましょう」
- c) 「母乳を飲ませた後にミルクを飲ませましょう」
- d) 「おっぱいがすつきりするまで授乳後に毎回搾りましょう」

4) 女児の体重減少率を計算しなさい。答えは四捨五入し、小数点第一位まで記載しなさい。

【計算式】

【答え】

(%)

5) 上記 3) で選択した解答について、その理由を記載しなさい。

--

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

Answer Sheet

解答用紙

【問題1】括弧 ①～⑩ に当てはまる適切な語句や数字を解答欄に記載しなさい。

①	②	③	④
22	死産	早期新生児 死亡	母性神話
⑤	⑥	⑦	⑧
ジェンダー アイデンティティ (性同一性)	ドメスティック・ バイオレンス	蓄積	爆発
⑨	⑩		
ハネムーン	生殖補助		

--

Entrance examination for the Master's Program of Nagoya University Graduate School of Medicine

大学院医学系研究科博士前期課程試験問題

Examinee Number 受験番号	
-------------------------	--

○

○

Answer Sheet

解答用紙

【問題 2】 括弧①～⑩に当てはまる適切な語句や記号、数字を解答欄に記載しなさい。

①	②	③	④	⑤
プロゲステロン (黄体ホルモン)	高温相、 (高温、高温期も 正答)	エストロゲン	d	腰椎の前弯
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
インスリン	b、d	産徴 (おしるし: 1点)	収縮不全 (収縮不良)	弛緩出血

【問題 3】 括弧①～⑤に当てはまる適切な語句や記号、数字を解答欄に記載しなさい。

①	②	③	④	⑤
20.8	10	13	d	バースプラン 出産計画書 1点 出産要望書 1点 出産希望書 1点

【問題 4】 括弧①～⑤に当てはまる適切な語句や記号を解答欄に記載しなさい。

①	②	③	④	⑤
ウォルフ (Wolff 正答)	ミューラー (ミュラー、 Müller 正答)	LH (黄体化ホルモ ン、黄体形成ホル モンも正答)	b, c, d (完全回答、 順不同)	子宮頸部細胞診 (細胞診)

【問題 5】

①	②	③	④
増加・減少	1500	1000	37
⑤	⑥	⑦	⑧
2500	必要・不要	抑制・促進	上昇・低下
⑨	⑩		
葉酸	ビタミンA ビタミンB		

【問題 6】

1)	2)	3)
b)	d)	b)

4)

【計算式】 $(2600-2430) / 2600 \times 100$ または $(2430-2600) / 2600 \times 100$ 【答え】 6.5 %

5) 【理 由】

正解はb)の「このままの授乳で様子をみましょう」

女児の体重減少率は①6.5%であり、②生理的体重減少範囲内であること、生後3日目を最低体重として、その後5日目にかけて、③母乳のみで体重が増加しており、④日増30～50グラムと十分にある。したがって、⑤このままの(自律)授乳で様子をみてよい/時間授乳する必要はないと判断できる。

または、選択肢a)c)d)についてすべてを否定することができる

- Aさんは10回/日の自律授乳によって女児の体重が増加していることから、3時間ごとの規則的な授乳へ変更する必要はない。
- 母乳栄養で児の経過は良好であり、人工乳を追加する必要はない。
- 「授乳後に母乳が残った感じ」と訴えているが、産褥5日目で乳房緊満の可能性はある。くわえて、人工乳の追加により児の母乳摂取量が減少すると乳房トラブルの原因となる可能性がある。／新生児の体重は増加しているものの、児が乳房から効果的に吸啜(吸てつ/吸せつは可)できていないことが原因で「授乳後に母乳が残った感じ」を有している可能性も考えられる。
- 現時点では、母乳のみでの女児の体重増加は順調であることから、日齢に応じた乳汁分泌をしていると考えられる。そのため、「おっぱいがすっきりするまで」授乳後に毎回搾乳すると、病的乳房緊満の原因となる可能性が考えられるため、必要性は低いと考えられる。